

みなとの施設 Port

Ports-
gateway
to the world

エネルギーを供給し、 工業を支える みなとは “産業創造空間”

みなとには、大量のエネルギー資源や工業原材料が運ばれています。しかし、このように大量の輸入品を内陸部まで運んでから加工しているのは、どうしても時間やコストがかかってしまいます。そこで、わが国では陸揚げされた輸入品をすぐに加工することができる「臨海工業地帯」が古くから発達してきました。

みなとの近くに林立するこれらの工場では、鉱石から工業原料が生産されたり、原油を加工して石油化学工業品の原料が作られ、全国各地へと運ばれていきます。

また、電気、ガスなどのエネルギーもこうした臨海工業地帯で生産され、付近の工場や各家庭に送られています。

このように、みなとは日本の工業やエネルギー供給も支えているのです。



製鉄所
広大な敷地面積を有する製鉄所では、輸入された鉄鉱石や石炭などを使い、鋼管やコイルなど、さまざまな鉄鋼製品が作られています。

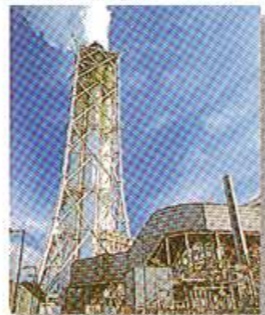


協力/日本鋼管株式会社京浜製鉄所

火力発電所
輸入されたLNG(液化天然ガス)などから作られる電気は、みなと近くの火力発電所から各家庭や工場に送られていきます。



協力/東京電力株式会社
東扇島火力発電所



オイルターミナル
原油、ガソリン、石油などの貯蔵・供給を行なう場所です。これらのオイルはパイプラインを通して、あるいは石油タンカーなどを使って各地に供給されます。



協力/東扇島オイルターミナル株式会社

ガスターミナル
家庭用のプロパンガスなどでおなじみのLPG(液化石油ガス)を貯蔵する場所です。家庭用から業務用まで幅広く使われています。



協力/日本石油ガス株式会社川崎ターミナル

石油化学コンビナート
輸入された原油を使い、さまざまな石油化学工業品の原料を生産する場所で、たくさんの化学工場が集まっています。

